

1 財政収支（R1 年度決算）

- ・実質収支額は、16億2,401万円の黒字
- ・4年ぶりに財政調整基金の取り崩しは行わずに、財政収支が均衡

<主な要因>

- ・地方交付税等の減少傾向が続く一方で、市税収入は前年度から堅調に推移
- ・ふるさと長岡への応援寄附金の確保
- ・行政経費の節減に加えて、記録的な少雪に伴い除排雪経費が減少

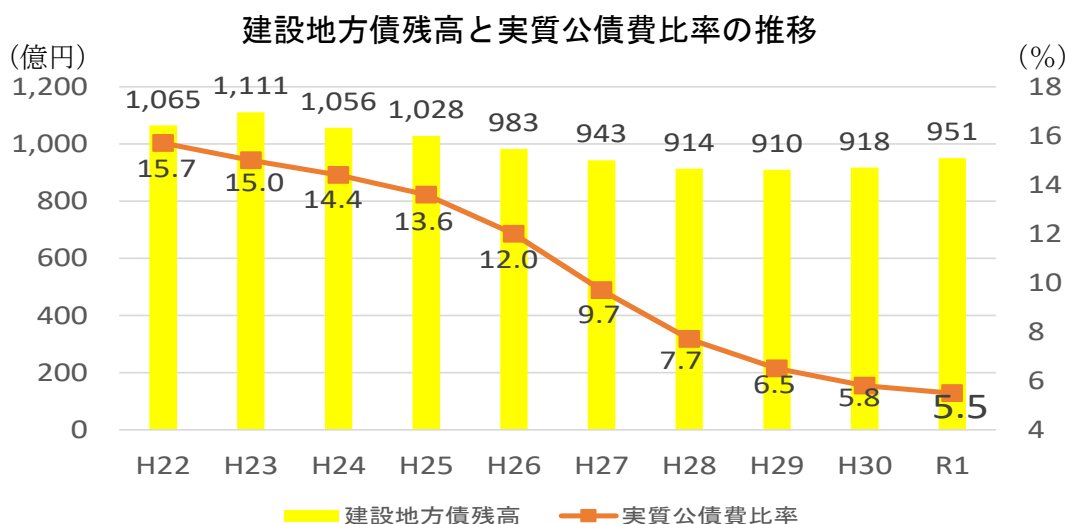
2 財政指標（R1 年度決算）

- ・財政の弾力性を示す「経常収支比率」は、県内20市平均、全国平均よりも低い
- ・収入に対する地方債返済額の割合を示す「実質公債費比率」と、財政規模に対し将来的に負担が見込まれる負債の割合を示す「将来負担比率」は、ともに健全な水準
- ・財政基盤の強さを示す「財政力指数」は、県内20市平均、全国平均を上回る

区 分	長岡市		県内20市 平 均	全 国 平 均※2	早期健全化 基 準
		県内順位※1			
経常収支比率	91.9%	9/20市	93.2%	93.0%	
実質公債費比率	5.5%	1/20市	10.4%	6.1%	25.0%
将来負担比率	74.6%	6/20市	109.6%	28.9%	350.0%
財政力指数	0.61	5/20市	0.49	0.51	

※1 経常収支比率：低いほど財政構造に弾力性あり／実質公債費比率、将来負担比率：低いほど地方債の借入れ負担が小さい／財政力指数：高いほど財政基盤が強い

※2 全国平均は、H30年度決算



3 令和2年度財政収支の見通し

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が甚大かつ長期に及んでおり、現時点では先行きを見通すことが難しい状況
- ・歳入では、景気後退に伴う法人市民税や地方消費税交付金の動向が不透明
- ・歳出では、現在、感染症対策は主に国の交付金を活用して行っているが、さらに長期化した場合の財源手当てが不透明